

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月7日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡市中央区薬院一丁目13番8号

氏名 株式会社 富士ピー・エス

代表取締役 堤 忠彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-721-3471

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 富士ピー・エス 九州小竹工場
事業場の所在地	福岡県鞍手郡小竹町御徳1673 (電話番号0949-62-1631)
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	2123 コンクリート製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 24億3,668万円 生産t数 36,887t
③従業員数	143名(社員23名、作業員120名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙1、管理体制の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 全体数量は別紙計画書の通り		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	0.00 t	45.16 t
	(これまでに実施した取組) 社内ISOマネジメントシステム（残コン量削減規定）により排出抑制の手順を「残コン廃棄量チェックシート」にて記録、確認し削減に努めている。		
② 計画	【目標】 全体数量は別紙計画書の通り		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	0.5 t	40.00 t
	(今後実施する予定の取組) 今年度はプラスチック類の廃棄物が発生する製品製作は概算予定で前年度とほぼ同量の予定。排出量も同等の見込みであることから40 tを目標とする。 廃油は、一部設備更新を予定している為、0.5 tの目標とする。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、木くず、廃プラスチック、混合廃棄物に分別して排出している。(鉄屑、ダンボール、紙屑は別途分別)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別ボックスへの分別の徹底、職員、作業員への意識高揚を図る。		

## (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙1、管理体制の通り		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 全体数量は別紙計画書の通り	
	産業廃棄物の種類	木くず                                  コンクリートがら
	排出量	53.70 t                                  3,348.90 t
	(これまで実施した取組) 社内ISOマネジメントシステム（残コン量削減規定）により排出抑制の手順を「残コン廃棄量チェックシート」にて記録、確認し削減に努めている。 木製型枠、パレットは業者に引き取らせ、可能な限り再利用している。 製品廃盤減少に努めている。	
② 計画	【目標】 全体数量は別紙計画書の通り	
	産業廃棄物の種類	木くず                                  コンクリートがら
	排出量	50 t    3,300 t
	(今後実施する予定の取組) 製品生産t数は前年度36,887 tに対して今年度は34,401 tを予定。 製作物件は昨年度と大きく変わりはない為、前年度とほぼ変わらず推移する予定。 木くずは、木製型枠を使用する物件が増加しているが、廃材再利用等による削減に努め、50 tの目標とする。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、木くず、廃プラスチック、混合廃棄物に分別して排出している。(鉄屑、ダンボール、紙屑は別途分別)	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別ボックスへの分別の徹底、職員、作業員への意識高揚を図る。	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙1、管理体制の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和4年度）実績】 全体数量は別紙計画書の通り		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	スレート
	排出量	47.84 t	0 t
	(これまで実施した取組) 社内ISOマネジメントシステム（残コン量削減規定）により 排出抑制の手順を「残コン廃棄量チェックシート」にて記録、確認 し削減に努めている。		
②計画	【目標】全体数量は別紙計画書の通り		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	スレート
	排出量	46 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 昨年度同等量の発生が見込まれるが、分別を徹底し削減に努め、46 t の目標とする。 スレートは、現状発生予定はない為、0tとする。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、木くず、廃プラスチック、混合廃棄物に分別 して排出している。(鉄屑、ダンボール、紙屑は別途分別)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別ボックスへの分別の徹底、職員、作業員への意識高揚を図る。		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙報告書別添の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	3,495.60 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3,447.76 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 材料使用の効率化に努めて廃棄物の発生を抑え、再利用等により更なる削減に努めている。		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙計画書別添の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	3,436.50 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3,390.50 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組) 昨年度の製品生産量36,887 tに対して、今年度は34,401 tを予定しており全体の生産量としては減少見込みである。製作内容は大きく変わる事も無いため、今年度産廃排出量は昨年度と同じ傾向にある。今後も、材料使用の効率化に努めて廃棄物の発生を抑え、再利用等により更なる削減に努めたい。</p>		
※事務処理欄			

備考

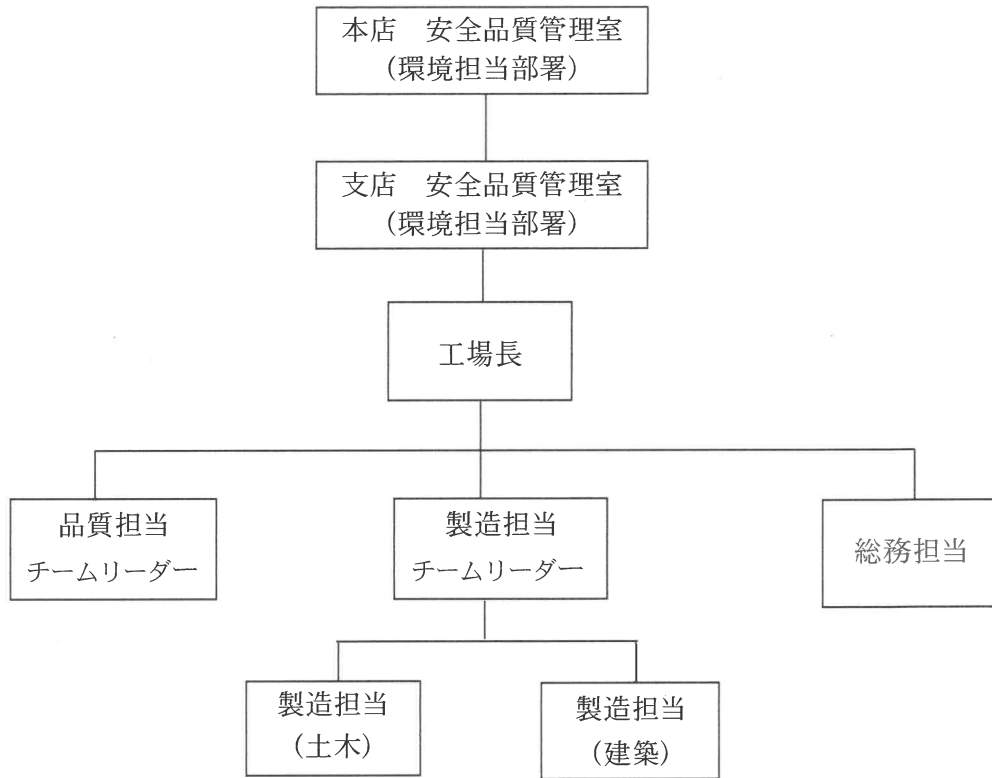
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



別紙1 産業廃棄物の処理に係る管理体制

(1) 組織図

(2)



(2) 職務分担

役割	職務内容
工場長	工場責任者、環境管理推進者、環境目標策定、実施状況推進 産業廃棄物処理計画の作成、管理状況把握、監督官庁への報告
製造担当 チームリーダー	産業廃棄物担当、製造管理全般、環境全般(大気・水質・騒音・振動・消防法)材料注文・受入、試験表管理、工程内検査・試験、最終検査・試験
製造担当 (建築)	産業廃棄物担当、製造管理全般、出荷管理、材料注文・受入、試験表管理、工程内検査・試験、最終検査・試験
製造担当 (土木)	産業廃棄物担当、製造管理全般、出荷管理、材料注文・受入、試験表管理、工程内検査・試験、最終検査・試験
品質担当 チームリーダー	品質管理全般、環境全般(大気・水質・騒音・振動・消防法)、工程内検査・試験、最終検査・試験、材料注文・受入、試験表管理
総務担当	産業廃棄物担当、総務全般、環境(大気・水質・騒音・振動・消防法・産業廃棄物)、マニフェスト管理、 総務管理、出荷管理、材料注文・受入

(様式第二号の八) 産業廃棄物処理計画書 別添 (令和5年度)

単位:トン/年

廃棄物の種類	前年度の産業廃棄物発生量	本年度の目標													
		①産業廃棄物排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接処理処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後に再生利用した量	⑨自ら中間処理した後に再び海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用者への処理委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収を行う業者への処理
燃え殻															
汚泥															
廃油	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	
廃酸															
廃アルカリ															
廃プラスチック類	45.16	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	0.00	
紙くず															
木くず	53.70	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00	50.00	0.00	0.00	
繊維くず															
動物性残さ															
動物系不要物															
ゴムくず															
金属くず															
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	3,348.90	3,300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,300.00	0.00	3,300.00	0.00	0.00	
鉱さい															
がれき類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ばいじん															
混合廃棄物(無分別)	47.84	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
計	3,495.60	3,436.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,436.50	0.00	3,390.50	0.00	0.00	

(様式第二号の八) 産業廃棄物処理計画書 別添

(令和5年度)

単位:トン/年

廃棄物の種類	産業廃棄物発生量の目標	計画の実施状況												
		①産業廃棄物排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定業者への処理委託量	⑫⑩のうち優良認定業者への処理委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻														
汚泥														
廃油	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	45.16	0.00	45.16	0.00	0.00
紙くず														
木くず	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	53.70	0.00	53.70	0.00	0.00
繊維くず														
動物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴム														
金属くず														
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	3,300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,348.90	0.00	3,348.90	0.00	0.00
錫さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
混合廃棄物(無分別)	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	47.84	0.00	47.84	0.00	0.00
計	3,432.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,495.60	0.00	3,447.76	0.00	0.00